

名神湾岸連絡線のルートを提示

多数の住宅や事業所に移転の必要性 高い高架構造

市は8月29日の都市計画審議会でも、名神湾岸連絡線の都市計画素案を提示しました。素案で初めて示されたルートについては、高架構造の連絡線が一般道路の今津東線の上を走り、大阪ガス今津総合グラウンドやJFEスチール西宮工場を縦断したうえ、橋梁で海を渡り、人工島の西宮浜で阪神高速5号湾岸線に接続することになっています。

連絡線は名神高速道路と湾岸線をつなぐために計画されている約2キロ(都市計画延長)の自動車専用道路。片側1車線の計2車線道路で、名神高速、阪神高速3号神戸線、大阪方面、湾岸線の大阪、神戸の両方面の4か所で接続し、西宮浜に出入り口を設置します。

連絡線が名神高速や神戸線の大阪方面と接続する西宮ジャンクション・インターチェンジ(JCT・



西宮市議会議員

かんの雅一

まさかず

交通量が減少すると推計されることや、連絡線の橋脚を設置するため、2車線になり、高さが20メートル以上になっている部分があります。海上区間の橋梁の下を船舶が航行す

名神湾岸連絡線などの説明会の日程・場所		
9月17日(火)	午後7時	西宮浜産業交流会館
9月18日(水)	午後7時	今津公民館
9月22日(日)	午前10時	今津公民館
9月23日(月・祝)	午前10時	西宮浜産業交流会館

縦覧意見書受付・説明会の開催を行い、市民の意見を聴きます。そのうえで、評価書を作成します。

早ければ令和2年度中に都市計画決定と環境影響評価の手続きを終える見通し。そのうえで、事業化が進められます。

環境影響評価については、国土交通省が準備書の公告・縦覧意見書受付・説明会の開催を行い、市民の意見を聴きます。計画案については、県の都計審で審査したうえで、県が決定します。

市は9月17日から計4回、連絡線などについての説明会を開きます。表の通り

市は説明会で出た市民の意見などを市の都計審に報告し、兵庫県に素案についての申し出を行います。県は都市計画案を作成し、公告・縦覧・意見書受付を行い、市民の意見を聴きます。計画案については、県の都計審で審査したうえで、県が決定します。

環境影響評価については、国土交通省が準備書の公告・縦覧意見書受付・説明会の開催を行い、市民の意見を聴きます。そのうえで、評価書を作成します。

西宮市政報告

かんの新聞

年4回発行

特別号

ジャーナリストの視点で調べる・伝える



元産経新聞記者 保守系無所属

IC)＝仮称IIや、連絡線が湾岸線と接続する西宮浜ジャンクション・インターチェンジ(JCT・IC)＝仮称IIは多層の道路による複雑な構造になります。

西宮JCT・ICでは、連絡線から神戸線の大阪方面に接続する道路は神戸線の上を越えたうえで、大阪方面と合流します。名神と連絡線を接続する道路は神戸線の下をくぐります。

西宮浜JCT・ICでは、人工島の西宮浜と甲子園浜の間にかかる湾岸線の西宮港大橋が東側にあり、構造上、接続が困難なため、連絡線から湾岸線への接続については大阪方面行きを含めて全ての道路をいったん、西方向に向けます。そのうえで、道路を環状にして接続します。

今津東線の車線数は現在、一部区間で4車線になっていますが、連絡線の整備に伴い、交通量が減少すると推計されることや、連絡線の橋脚を設置するため、2車線になり、高さが20メートル以上になっている部分があります。海上区間の橋梁の下を船舶が航行す

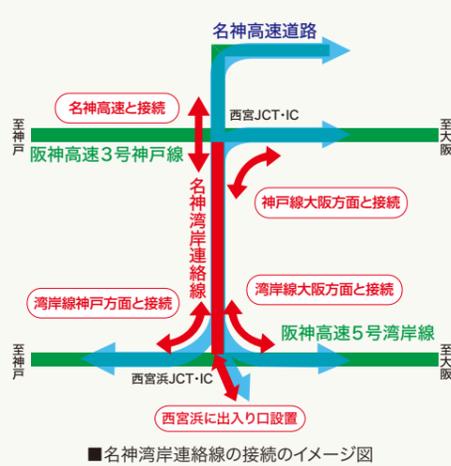
るため、橋げたまでの高さについて26メートル以上とすることから、陸上部分の高さも高くなるとしています。

事業化に伴い、多数の住宅や事業所が移転を余儀なくされる見通しですが、市は事業化後に実施される測量などにより、具体的な用地取得の範囲や移転件数などが確定するとしています。

市は9月17日から計4回、連絡線などについての説明会を開きます。表の通り

市は説明会で出た市民の意見などを市の都計審に報告し、兵庫県に素案についての申し出を行います。県は都市計画案を作成し、公告・縦覧・意見書受付を行い、市民の意見を聴きます。計画案については、県の都計審で審査したうえで、県が決定します。

環境影響評価については、国土交通省が準備書の公告・縦覧意見書受付・説明会の開催を行い、市民の意見を聴きます。そのうえで、評価書を作成します。



都市計画審議会でも示された名神湾岸連絡線の都市計画素案では、ルートが住宅や事業所などの多くの民有地にかかることが判明しました。

連絡線が名神高速道路や阪神高速3号神戸線の大阪方面と接続する西宮ジャンクション・インターチェンジ(JCT・IC)＝仮称IIや、連絡線が阪神高速5号湾岸線と接続する西宮浜ジャンクション・インターチェンジ(JCT・IC)＝仮称IIの2か所については、構造が大きいことから、周辺に広い事業用地を必要とします。

西宮JCT・ICでは、十字構造で区切られた4方面の隣接地の全てで新たな事業用地を取得することになります。連絡線は西宮JCT・ICの手前から名神と神戸線の両方に接続するため、2車線から4車線に増えることから、ルートは一般道路の今津東線沿いにある大関の工場の敷地の一部などにもかかるとしています。

連絡線事業については、移転の問題に加え、環境や景観への影響、地域を分断する可能性などについて懸念される課題が数多くあります。事業化のためには、こうした課題を丁寧に説明し、対応策を示して市民の理解と協力を得ることが不可欠です。

西宮浜JCT・ICでは、南北の両面の隣接地で事業用地を必要とします。特に、北側は湾岸線と接続するために連絡線を環状にする必要があり、取得する必要がある用地は広くなります。この地区には西宮浜産業団地があり、多くの事業所があります。

ルートが縦断する大阪ガス今津総合グラウンドには、陸上競技場と野球場などがあります。野球場の上にかかる場合、競技に支障が出る恐れがあり、陸上競技場の上を通ることとしたとしています。

連絡線の事業主体が事業化後に測量などを行い、具体的な用地取得の範囲や移転件数などを確定させることとなります。問題は事業主体が決まっていること、国土交通省はいつ決めるかを明らかにしていません。事業主体については、阪神高速道路か、西日本高速道路か、あるいはそのいずれかと国の組み合わせになるとみられています。

名神湾岸連絡線の問い合わせ先	
道路計画・環境影響評価に関する問い合わせ	国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所
☎078-334-1600(代表)	
都市計画手続きに関する問い合わせ	西宮市 都市局 都市計画部 都市計画課
☎0798-35-3603	

お待ちしています!!

西宮市政についての疑問や意見をぜひお聞かせください。かんの雅一が問題を丹念に取材したうえで、わかりやすく説明します。

地元の集まりや趣味の会合などで市政の現状について聴きたい場合もご連絡ください。かんのが出向いて市政報告をします。



定期送付のご案内

通常の西宮市政報告「かんの新聞」は年間4回、発行し、南甲子園地区(市立南甲子園小学校の校区など)と周辺地域を中心に各戸配布し、西宮市内に配達する産経新聞朝刊に折り込みとして入れます。それ以外の方、ビラ配布禁止の集合住宅にお住まいの方、確実に入手したい方には定期的に送付します。下記●印の必要事項を記載いただき、お申し込みください。市政へのご意見、ご要望や「かんの新聞」のご感想もお書きいただければ、うれしいです。「かんの新聞」のバックナンバーをご希望の方もご連絡ください。

- 「定期送付希望」●郵便番号●ご住所●お名前●生年月日●ご連絡先電話番号●メールアドレス

はがき宛先 〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101 FAX・メールでのお申し込みはかんの雅一宛 本紙最下段に記載の宛先まで

言葉の解説 都市計画審議会とは何?

自治体に設置されている審議会の1つで、都道府県と市区町村の両方にあります。都市計画法に基づき、自治体が都市計画を決めるのに先立ち、その案が妥当かどうかを調査し、審議します。西宮市都市計画審議会には市附属機関条例に基づき、学識経験者や市議会議員、県職員、市民の計19人で構成します。



本名: 菅野 雅一(かんの・まさかず)

昭和33年(1958年)、神戸市生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業。昭和60年に産経新聞社に入社。平成27年1月に退社し、同年4月の市議選に初当選。今年4月の市議選で再選。保守系で政党無所属。「会派・ぜんしん」メンバー。南甲子園自治会副会長。NPO法人海浜の自然環境を守る会副理事長。社会福祉法人真砂ちどり保育園理事長。防災士。

第18号は令和元年11月の発行予定です

かんの雅一事務所

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101
TEL:090-1895-1488 FAX:0798-40-9530
《MAIL》info@kannomasakazu.com

●詳しい政策はホームページへ www.kannomasakazu.com

名神湾岸連絡線のルート図

※連絡線は赤色部分と赤線で囲われた部分の全て 青色部分は既存の都市計画道路
(西宮市都市計画審議会資料より)



注意：この模型はイメージです。
高速道路及び計画路線の線形などをわかりやすく表現したものです。

連絡線完成時をイメージした西宮浜JCT・IC周辺の模型。
右上(北西方向)では連絡線が環状になって湾岸線と接続している。

(西宮市都市計画審議会資料より)

15.8(15)名神湾岸連絡線(2車線)
17.9(17.9)
14.5~16



注意：この模型はイメージです。
高速道路及び計画路線の線形などをわかりやすく表現したものです。

連絡線完成時をイメージした西宮JCT・IC周辺の模型。
手前(南西方向)にあるのが市立今津小学校。

(西宮市都市計画審議会資料より)

